



# 町民参加で 町総合計画を 策定するために



東京電力清津川発電所（三俣取水口）

佐藤 守正

清津川・魚野川  
流域水環境検討  
協議会について

### 質問

この会に湯沢町からは三俣地区の代表者が参加をしていたが、湯沢町当局は参加しなかった。なぜなのか。

### 町長答弁

協議会の設立に当たって県の事務局から湯沢町の参加についても打診があったが、三俣地区が参加したいという意向だったので代わって出ていただいた。

### 質問

どちらかが出ればそれでいいという問題ではない。清津川に水を取り戻したいという三俣地区の要求を町も一緒に主張する場であったはずである。

次の町長が出ようと思っても、席が無くなっていくという状況にはしないほしいと要望しておく。

総合計画審議委員会の委員が全て町長が選んだ委員でいいのか。

### 質問

湯沢町総合計画・後期計画の策定作業がいま行われている。来以降五年間の湯沢町の施策の方向と内容を定める重要な計画であり、自立した町としての町づくりの指針でもある。

その総合計画は湯沢町の行政を総合的に管理する計画書でなければならない。また町民もその作成にきちんと係わり、その達成度についても深い関心を持って、主体的にその事業に参加していこうとする姿勢・雰囲気をも町の中に醸成していくような基本計画にしなければならない。

後期計画の策定に町民参加はどのようになされているか。

### 町長答弁

十二名の審議委員のうち七名を公募したが一人の応募者も無かったため、全員を委嘱で選ばざるを得なかった。

広報で公募の告知をしてはいたが、あのような一片の告知だけで町民が参加してみようという気持ちになるとは思えない。

### 質問

町長はよく「町民との協働」というが、協働をどうしたら作り出せるのかについての追求・考察が足りない。協働と言うだけで、本当にそれが必要だとは充分自覚していないからではないか。

前期計画の見直しは誰が行うのか

### 質問

前期計画の達成度を点検・検証する作業は誰が行い、その見直しの結果を我々議会はどのようにして知ることが出来るのか。後期計画はほぼでき上がっているとの答弁だが、我々はまだ一度も相談を受けていない。

### 町長答弁

現計画の達成度の点検は役場内の策定委員会で行っている。これから審議会に諮問し、答申を得て計画策

定となるが、その間に何回か議会にも報告をする予定だ。

### 質問

いかにしてこの総合計画を町民に意識してもらうか、そして協働の町づくりに参加してもらうかについて、もっと執行部は意を注いでいただきたい。

そのために、でき上がったから町民に知らせるのではなく、役場の策定委員が作った原案を広報で町民に提示し、広く意見を募ったかどうか。議会にも完成したものの承認を求めただけではなく、原案の段階で意見を求めてほしい。

町民も議会も参加して作られた総合計画であれば、その事業の進み具合や結果について町民はもっと深い関心を寄せ、「町民との協働」の基礎が出来るのではないか。総合計画が存在することすら多くの町民が知らないという事態は何としても変えなければならない。

一

般

質

問